



保証書付き

TQBM0298-5
M0418YY5052

持込修理

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
※ お買い上げ日	年	月	日
※ お客様	ご住所 お名前 電 話 ()		

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡してください。

RD-M750

- RD-760

- ・付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
- ・（ ）内は買い替え時の品番を表します。品番は 2021 年 1 月現在のものです。
- ・包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

必ずお守りください

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)

⚠ 危険

警告

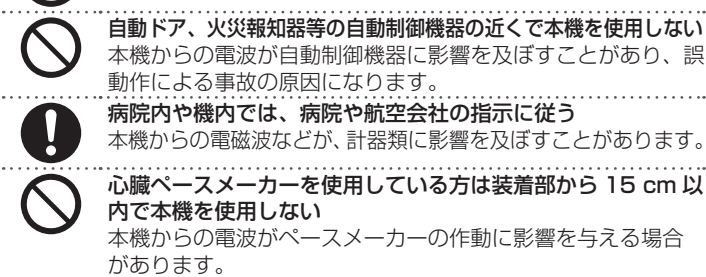
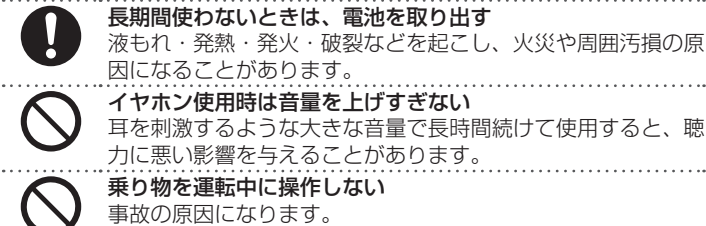
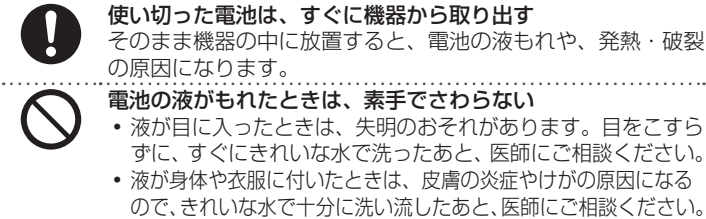
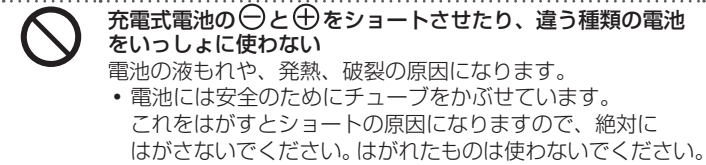
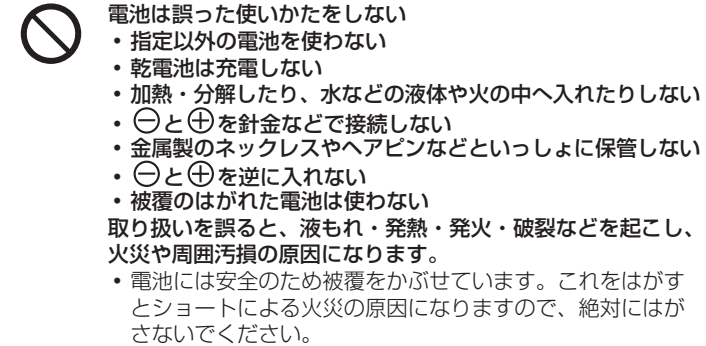
！ 異常・故障時には直ちに使用を中止する
異常があったときには、電池を取り出す
・煙が出たり、異常なおいや音がする
・音が出ないことがある
・内部に水や異物が入った本体が破損した
そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・電源を切り、販売店にご相談ください。

 **分解、改造をしない**
機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

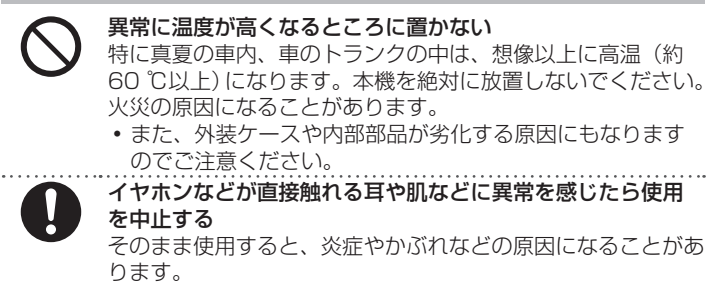
 **分解禁止**

 **内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**
ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



⚠ 注意



- 本機はバナガイド専用充電器で充電してください。安全確保のため一般の電池は充電できない構造になっています。
- 買い替えは、必ず専用の単 3 形ニッケル水素充電式電池をお求めください。
単 3 形ニッケル水素充電式電池：
HHR-3AM/2B (2 個)

充電式電池使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！



モノラルマイクロホン
(付属)

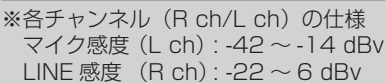
ワイヤレス
受信機
(RD-760)

ワイヤレス
マイクロホン
(RD-M750)

付属のミキシング接続コードをワイヤレスマイクロホンに接続することで、2つの音声を1つの送信チャンネルでワイヤレス受信機に送信することができます。

複数の登壇者がいるシンポジウムなどでは、同時通訳の音声も複数あり、それぞれの同時通訳に合わせてチャンネルを切り換えるのは大変です。本機に付属のミキシング接続コードを使えば、1つの送信チャンネルで2つの同時通訳の音声を送信することが可能です。

- ① 同時通訳 A の音声を、ミキシング接続コード（付属）の L ch に接続します。
- ② 同時通訳 B の音声を、ワイヤレスマイクロホンにを入力し、ワイヤレス受信機に送信します。
- ③ ワイヤレス受信機が受信した同時通訳 B の音声を、ミキシング接続コード（付属）の R ch に接続してワイヤレスマイクロホンに☐入力します。
 - ・ワイヤレス受信機とミキシング接続コードの R ch は市販のオーディオコード（抵抗無し）で接続してください。
- ④ 2 つの音声が入力されたワイヤレスマイクロホンから同時通訳 A/B の両方の音声を 1 つの送信チャンネルでワイヤレス受信機に送信します。
 - ・同時通訳 A/B の音量バランスは、R ch に接続したワイヤレス受信機で調整してください。
 - ② の送信チャンネルとは違う送信チャンネルで音声を送信してください。
 - ・送信するワイヤレスマイクロホンのマイク / 外部入力切り換え（本機背面）は「マイク」に設定してください。
 - ・L ch にモノラルマイクロホン（付属）以外を接続する場合は、マイク / 外部入力切り換え（本機背面）を「外部入力」に設定してください。

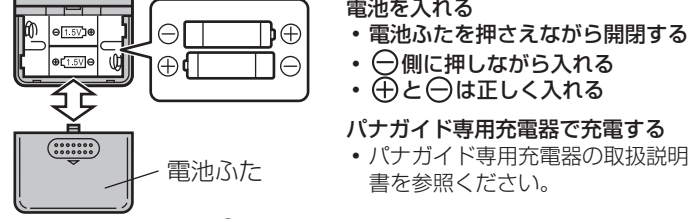


電源の準備

単 3 形ニッケル水素充電式電池（付属）を使う

最初にワイヤレスマイクロホン、ワイヤレス受信機を使用するときは、単 3 形ニッケル水素充電式電池（付属）を充電してください。

■ パナガイド専用充電器（別売）で充電する



電池を取り出すときは⊕側から取り出してください。

■ 単 3 形ニッケル水素充電式電池（付属）の充電時間・使用時間のめやす

パナガイド専用充電器	充電時間	使用時間	
		RD-M750	RD-760
RD-9622Z	約 6 時間	約 15 時間	約 8 時間
RD-9711Z	約 5 時間		

- 使用時間は使用条件によって短くなる場合があります。
- 電池残量確認表示が“赤”のときはパナガイド専用充電器で充電してください。
- 充電環境によってはパナガイド専用充電器の充電状態表示ランプが早く消灯し、使用時間が短くなる場合があります。
- 単 3 形ニッケル水素充電式電池は約 300 回充電できます。
- 充電しても使用時間が極端に短くなった場合は、電池の寿命です。電池が寿命のときは新しい専用の単 3 形ニッケル水素充電式電池（[P.3 ページ](#)）と交換してください。
- 長期間ご使用にならないときは、3 か月に一度の割合で 1 ～ 2 回充 / 放電をくり返してください。電池性能の劣化を防ぐことができます。
- 不要になった充電電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

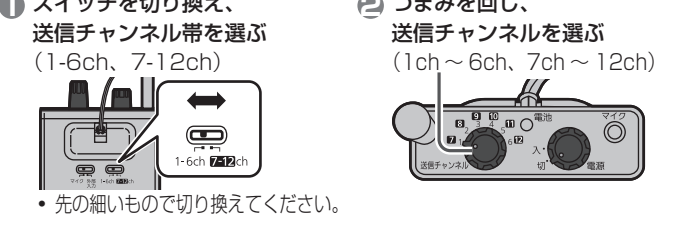
お知らせ

- 市販の単 3 形アルカリ乾電池でもご使用になれます。

ワイヤレスマイクロホンを使う RD-M750

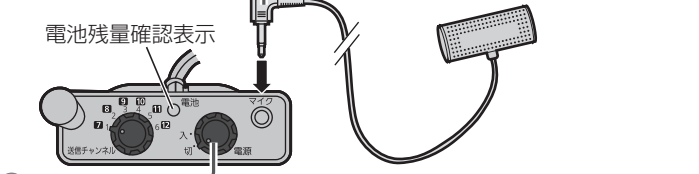
■ 周波数を合わせる

お使いになるワイヤレス受信機の受信周波数に合わせてください。



■ 送信する

① モノラルマイクロホン（付属）を接続する

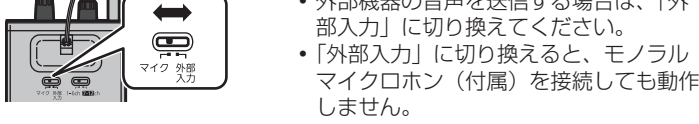


- 電池残量確認表示“緑”が点灯し、マイク送信ができます。電池残量が少なくなると“赤”が点灯します。お早めに電池を交換ください。
- 使用後は必ず電源を切ってください。

■ マイク / 外部入力を切り換える

モノラルマイクロホン（付属）を接続する場合は、「マイク」に切り換えてください。オーディオミキサーなどからの音声入力や、付属以外のダイナミックマイクを接続する場合は、「外部入力」に切り換えてください。

スイッチを切り換える



ワイヤレス受信機を使う RD-760

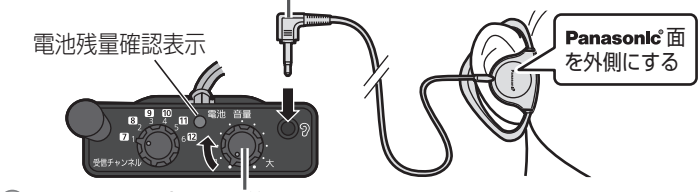
■ 周波数を合わせる

お使いになるワイヤレスマイクロホンの送信周波数に合わせてください。



■ 受信する

① 耳かけ式イヤホン（付属）を接続する



② 電源を入れ、音量を調節する

- 電池残量確認表示“緑”が点灯し、ワイヤレスマイクロホンからの案内などを聞くことができます。電池残量が少なくなると“赤”が点灯します。お早めに電池を交換ください。
- 使用後は必ず電源を切ってください。

使用上のお願い

■ 受信のポイント

- 雑音が多く聞き取りにくい場合は、ワイヤレスマイクロホンの近くでワイヤレス受信機をご使用ください。近距離でも状態によっては受信しにくいことがあります。
- チャンネルが使用されていないか確認するには、先に受信機の電源を入れて使いたい受信チャンネルに切り換えます。このとき、音が聞こえない場合、そのチャンネルは使用されていません。
- 異なったチャンネルで使用していても、ワイヤレスマイクロホンを近くで同時に使用すると、混信することがあります。その場合は、それぞれのワイヤレスマイクロホンを離してご使用ください。
- パソコンなどのデジタル機器や、自動車、蛍光灯など電気雑音のする器具などからできるだけ離れてご使用ください。
- 1ch ～ 6ch のチャンネル帯では、RD-M650AZ（ワイヤレスマイクロホン）、RD-660AZ（ワイヤレス受信機）をご使用になれます。また、1ch ～ 2ch のチャンネル帯では RD-650AZ/12（ワイヤレス受信機）もご使用になれます。

■ 電波法を守ってご使用ください

以下のことは法律で禁止されています。

- 本機背面の技術基準適合証明ラベルをはがして使用する。（RD-M750 のみ）
- 分解や改造をする。
- 他人の通信を聞いて、これらを漏らしたり窃用したりする。
- 日本国外で使用する。

■ 使用上のお願い

- 本機側面の充電端子間を金属物などでショートさせないでください。故障の原因となります。

以下のことは故障の原因となりますので、避けてください。

- 水などの液体にぬらす。
- 強い衝撃や落下。
- 風呂場などの湿気の多いところでの使用。
- 倉庫などのほこりの多いところでの使用。

■ お手入れについて

- 柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後からぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●製品名	ワイヤレスマイクロホン、ワイヤレス受信機
●品 番	RD-M750、RD-760
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **6 年**

当社は、このワイヤレスマイクロホン、ワイヤレス受信機の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

- 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル **0120-878-410** 受付：9時～17時30分（土・日・祝日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>
ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

- 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト
<https://club.panasonic.jp/repair/>
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口
電話 フリーダイヤル **0120-064-878**
・上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

	RD-M750 ワイヤレスマイクロホン	RD-760 ワイヤレス受信機
送受信周波数	322.050 MHz (1ch) / 322.250 MHz (3ch) / 322.150 MHz (5ch) / 322.025 MHz (7ch) / 322.125 MHz (9ch) / 322.300 MHz (11ch)	322.100 MHz (2ch) / 322.350 MHz (4ch) / 322.400 MHz (6ch) / 322.075 MHz (8ch) / 322.275 MHz (10ch) / 322.375 MHz (12ch)
対応チャンネル	1ch ～ 12ch	1ch ～ 12ch
入力端子 MIC 端子 モノラル	マイク感度 (L ch) : -42 ～ -14 dBv LINE 感度 (R ch) : -22 ～ 6 dBv	
出力端子		イヤホン 32 Ωモノラル (Φ 3.5 mm ジャック)
実用最大出力		45 mW (JEITA)
送信出力	1.0 mW	
電源	DC 2.4 V (単 3 形ニッケル水素充電式電池×2 個) DC 3.0 V (単 3 形アルカリ乾電池×2 個)	
電池持続時間	約 15 時間 (単 3 形ニッケル水素充電式電池*) 約 32 時間 (単 3 形アルカリ乾電池)	約 8 時間 (単 3 形ニッケル水素充電式電池*) 約 14 時間 (単 3 形アルカリ乾電池)
最大外形寸法	61.5 (W) mm × 171.5 (H) mm × 19.5 (D) mm	61.5 (W) mm × 171.5 (H) mm × 19.5 (D) mm
本体寸法	61.5 (W) mm × 101 (H) mm × 17.6 (D) mm	61.5 (W) mm × 101 (H) mm × 17.6 (D) mm
質量 (電池を含む)	約 130 g	約 130 g
質量 (電池を含まず)	約 76 g	約 76 g
※付属の単 3 形ニッケル水素充電式電池を、パナガイド専用充電器で充電時 ・本機のチャンネル表示はわかりやすくするため、弊社で便宜上決めているものです。 ・この仕様は、性能向上のため変更することがあります。		

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障し、保証期間内に修理ご依頼いただいた場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、取扱説明書から切り離した本書を添え、お買い上げの販売店にお申しつけください。
(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本保証書に記入された販売店で修理をお受けになれない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合は、原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(ロ) 取付場所の移送、輸送、落下、衝撃などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
ただし、車載を目的とした機器は除く
(ホ) 電池や 消耗または摩耗した部品交換の場合
(ヘ) 指定外の動作環境で使用された場合の故障及び損傷
(ト) 本書のご添付がない場合
(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(リ) 商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理等を行った場合の出張料は、お客様の負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 修理ご相談窓口は、本書表面をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご覧ください。
※修理に際し、本体交換による修理や再生部品、代替部品を使用する場合がございます。交換した本体、再生部品は回収させていただきます。
※This warranty is valid only in Japan.

